

津松阪港地震・津波対策検討会議（第3回）

議事概要

日時：平成24年2月19日 15:00～16:30
場所：三重県教育文化会館（6F 多目的H）

1. 開 会

2. 出席者紹介

3. 座長挨拶

座長：三重大学 渡辺悌爾（ワタナベ テイジ） 名誉教授

4. 議 事

- (1) 津松阪港地震・津波対策検討会議（第1・2回）について
- (2) 中部の港湾における地震・津波対策に関する懇談会（第2回）について
- (3) 津波シミュレーション（暫定版）結果について
- (4) 津松阪港の地震・津波対策に関する基本方針（案）について
- (5) 津松阪港の基本方針の具体化に向けた取り組み
- (6) 海上保安部からのお知らせ
- (7) 意見交換

<議員>

- 地震・津波対策は重要な検討課題であり、あらゆる角度から検討してほしい。
- 東日本大震災以後、住民の防災意識も変わってきている。
- 今年度、新規採択された海岸（栗真町屋、阿漕浦・御殿場）早期整備要望。
- 従来の発想にとらわれず、厳しい財政の中、知恵を出し合うことが必要。
- 港湾BCPや企業BCPの策定は重要。1企業のみでは無く、連携して策定していただきたい。
- 湾港GPS波浪計については、伊勢湾口へ早期に設置し情報共有を。

<自治体等>

- 津市では、今年、地域防災計画の津波対策編を作成した。現在、ソフト対策、避難ビルの指定など進めている。平成24年から2年間を災害対応集中強化年間として抜本的な見直しを進めていく。ハード面や様々な津波対策の総合的な支援、指導をお願いしたい。

- 三重県が公表した M9.0 の浸水図は、避難路・避難所検討のため暫定版として公表したものであり、想定を超える津波に対し啓発する目的。
- 河川からの津波の遡上も考えられる。耐震化等、河川堤防に関する検討も必要。

<民間>

- 当会議にて情報提供されたデータを参考に企業 BCP に反映していきたい。
- 想定地震・津波をどのように設定するかが課題。
- H23d 新規として認められた海岸事業について1年でも早く完成してほしい。

<国>

- 来年度より避難計画、港湾BCPの策定に取り組んでいく。引き続き、関係者の方には協力していただきたい。

<座長>

- この地震津波対策検討会議における、ご意見を十分に参考にして、さらに検討を深化させ早急な対応を期待する。